



SPRING

済生会鹿児島地域福祉センター

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号 TEL.099-284-8250 FAX.099-284-8252

□ http://www.saiseikai-kg.jp







鹿児島における済生会実践論Ⅲ

~認知症ケアへの取り組み~

清明にして鳥はさえずり、百花繚乱の侯、それぞれの場で、新たな決意のもとに新年度が 始まりました。

皆様にとり良き年度でありますようご祈念申し上げます。

今回は認知症がテーマです。認知症は高齢化の進展とも相まって近年増加し続けており、認知症の介護をめぐる痛ましい事故・事件も相次いでおり、高齢国日本の大きな社会的課題となってきています。

これらの課題に対処するため、厚生労働省は平成27年1月に「認知症施策推進総合戦略 (新オレンジプラン)」をうち出しました。

認知症対策は、単に医療と介護の分野のみならず、生活全般にわたるニーズを有するため、厚生労働省が内閣官房、内閣府、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省の10関係府省庁と共同して認知症施策推進総合戦略を策定したものであり、今後以下の7項目を柱として関係府省庁が連携して認知症の予防や認知症高齢者等の日常生活を支援する取り組みを進めることとされています。

- ①認知症の理解を深めるための普及・啓発の推進
- ②認知症の容態に応じた適時・適切な医療等の提供
- ③若年性認知症施策の強化
- ④認知症の人の介護者への支援
- ⑤認知症の人を含む高齢者に優しい地域づくりの推進
- ⑥認知症の予防法、診断法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその 成果の普及の推進
- ⑦認知症の人やその家族の視点の重視

認知症は鹿児島県内においても全国同様増加してきております。

厚生労働省の患者調査(2014)によると、鹿児島県内では、糖尿病と並んで、精神疾患患者数が1999年からの15年間で倍増したこと、特にアルツハイマー病等の認知症とうつ病をはじめとする気分障害の増加が明らかとなりました。





さらに、鹿児島県介護福祉課の調査によると、平成26年10月1日現在で、本県の要介護(要支援)認定者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度ランク II 以上の高齢者は60,416名で、65歳以上の要介護(要支援)認定者の約6割を占めています。この他にもランク I の高齢者が20,020名、要介護(要支援)認定を受けておられない高齢者にも認知機能に何らかの障害が認められる方が6.9%(33,465名)とされ、認知症高齢者数は今後益々増加していくことが予想されています。鹿児島県は独居高齢世帯率が全国1位、高齢夫婦世帯率が全国3位であり、これらの方々はもとより、全県民にとって認知症問題は本人のみならず離れているご家族、同居のご家族、さらに地域社会にとって、適切な対処が求められる県民的課題であります。さらに、働き盛りである40~64歳においてもランク II 以上が953名、ランク I が462名となっており、働き盛りの認知症の増加は本人のみならず、扶養家族や職場・社会にとっても大きな喫緊の重要課題となってきています。

このような地域特性を有する本県では、認知症の方々へのケアの充実と地域づくりも重要ですが、さらに軽度認知障害(MCI)の早期診断・早期対応や一般高齢者への認知症予防の取り組みが重要です。特に生活困窮を伴う独居高齢者や高齢核世帯の方々には、1次・2次予防として、認知症発症リスクを軽減する積極的施策が必要と考えられます。

鹿児島県の認知症施策として、国の施策、市町村の施策及び県の関係施策との連携を図りながら、「認知症予防の推進」、「早期診断・早期対応の推進」、「認知症の人と家族への支援の充実」を総合的に推進することとされております。

これらの方向性も踏まえながら、済生会は認知症の方々が安心して幸せな日々をすごしていただける、認知症グループホームや認知症デイサービスのほか、認知症予防をめざした介護予防事業に取り組んでいます。

特に認知症デイサービスでは、重度の方々も受け入れ、専門職員達がタクティールケア 等の導入をはじめ研鑽を重ね、利用いただく認知症の方々とご家族にとってより満足いた だける適切な個別ケアの実践に向けて、真摯な取り組みを進め、成果をあげつつあります。

今後は、鹿児島県、鹿児島市や関係機関団体や県民の方々と一層連携を密にし、認知症予防も含めた地域包括ケアの推進に済生会として貢献してまいりたいと思います。

ご利用者の皆様からのご提言や忌憚のないご意見を寄せていただきますようよろしくお願いいたします。

吉田 紀子



認知症ケアへの取り組み

安全・安心・快適な環境とあなたらしさを大切に!

グループホーム 武岡ハイランド

グループホーム武岡ハイランドは、桜島を一望できる高台にあり、豊かな自然に囲まれて、のどかで穏やかで落ち着いた生活に適した施設です。家庭的な雰囲気の中で、その人なりのリズムやペースを大切にし、ゆったりと穏やかに生活していただけます。



個別支援で一 自分らしさや誇りをもったくらし



自主・自立支援で — 自分でやれる喜びと達成感のあるくらし





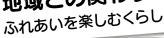
ご家族と一緒に 絆を大切にしたくらし







地域との関わりの中で一





充実したレクリエーション 脳の活性化や楽しみのあるくらし





利用料金(1日)

区分	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
自己負担分 (1割負担)	791円	795円	830円	854円	870円	886円		
居住費	1日 1,500円							
食材料費	朝食350円 昼食450円 夕食450円(税別)							
水道光熱費	1日 400円(税別)							
合 計	4,073円	4,077円	4,112円	4,136円	4,152円	4,168円		

※自己負担分は1割負担の方で、各種加算が算定されています。



認知症ケアへの取り組み

武岡団地の目抜き通りにあります!

グループホーム 武岡五丁目

グループホーム武岡五丁目は、地域に密着したホームを目指して日々の生活をサポートさせていただいています。年間を通した行事や日常生活の中でも、近隣の方々との接点を大切にするグループホーム

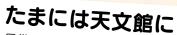
です。ご家族との絆を大切にしながら、このグループホームで、入居者様に「鹿児島市武岡で生活している。」と実感していただける

事を目標に、楽しみのある一年一年を過ごしていただきたいと思っています



初詣

鹿児島市の福祉バスをお借りして 護国神社に初詣に出掛けました。



日常のお買い物は近所のスーパーに・・・ たまには天文館にお出かけします。











校区文化祭

武岡小学校校区の文化祭に出品、観覧に行きました。





近所のボランティアの方にも定期的に訪問していただくなど、少しずつですが地域の 方々との交流の機会が増えています。

武岡で催される行事には出来るだけ足を運びながら、地域と関わりを持ってお一人おひとりが自分らしい生活を過ごせるようお手伝いをさせていただきます。

利用料金(1日)

区分	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
自己負担分 (1割負担)	812円	816円	852円	875円	892円	909円		
居住費	1日 1,500円							
食材料費	朝食350円 昼食450円 夕食450円(税別)							
水道光熱費	1日 300円(税別)							
合 計	4,106円	4,110円	4,146円	4,169円	4,186円	4,203円		

[※]自己負担分は1割負担の方で、各種加算が算定されています。

済生会 武岡福祉相談所

相談日:毎週火曜日/13時~17時場 所:グループホーム武岡5丁目

(武岡ハイランド郵便局近く)

※みどりののぼりを目印においでください!

どんなことでも お気軽に ご相談ください。



[※]理美容代等は別途実費負担をお願いします。詳細はスタッフにお問い合わせください。

「その人らしさ」を大切にしたケアを目指して

デイサービスセンター 高喜苑

デイサービスセンター高喜苑は特別養護老人ホーム高喜苑に併設した認知症対応型通所介護事業所です。高台にあり眺めも良好で桜島も望めます。デイルームは家庭的な雰囲気のなかで、利用者様がリラクッスできるように関わっています。

利用者様お一人おひとりの心身の状態や生活のペース、スタイルに応じて個別のケアを心掛け、認知症上級ケア専門士等の職員を配置して専門的なケアを実践しています。

~タクティールケアで癒しや穏やかさを~

タクティールケアとは背中や手足を包み込むように優しく触れることで、対象者が心地よさと 人の手に身体を委ねている感覚を味わうことができます。







【タクティールケアにより期待できる効果】

- ●安心感や穏やかさを与える=認知症の人の行動・心理症状(BPSD)の軽減に繋がる
- ●痛みの軽減や身体の感覚を改善
- ●自分の存在が認められているという信頼関係を深めることができる

~音楽療法で脳活性やリラクゼーションを~

月に2回実施している音楽療法は好きな音楽を聴く、簡単な楽器を奏でる、歌に合わせて踊る、 共に歌うなど、音楽を通じて脳を活性化させるリハビリテーション法のひとつです。





【音楽療法により期待できる効果】

- ●脳を活性化
- ●リラクゼーション効果
- ●食欲が増す
- ●良眠効果





花見(紫陽花)

季節を感じていただける支援をさせていただきます。



花見(コスモス)



七夕



クリスマス会



初詣



敬老会



ボランティアの皆様と



地域との交流活動

民生委員の定例会に出席し、地域包括ケアに おける今後の課題について検討しました。



KOMOREBI TOPICS CENTIFICADA

済生会学会・総会に2,389名が参加

第68回済生会学会と平成27年度済生会総会が、 2月27日から2日間、大阪国際会議場(キューブ大阪) で開かれ、全国から2.389人が参加しました。

28日の総会では、豊田章一郎会長のあいさつに続 き、総裁の秋篠宮殿下から「おことば」を賜りました。

「見つめよう、考えよう、今、済生会に求められてい ること!」をメインテーマに開かれた学会では、「安全・ 安心な質の高い医療を提供する試み」「地域包括ケア システムの構築に向けた取り組み」等をテーマにした シンポジウムのほか、498題の口演やポスター発表が ありました。

福祉センターからは、デイサービス高喜苑の管理 者福崎修也さんと、武岡台デイサービスセンター理 学療法士の門野彩香さんが「タクティールケアによる 心理的状態の変化」と「「二次予防事業(介護予防)に おける運動プログラムの検討」についてポスター発表 を行いました。





焼き芋パーティしました

▶ 武岡台デイサービスセンター

武岡台デイサービスセンターでは、利用者様と焼 き芋つくりを楽しみました。

屋外は少し寒く、冷たい風が吹いていましたが、炭 火のまわりをみんなで囲むと、冷たい風も心地よい 風になり、一体感が感じられて、職員共々あったかい 気持ちになりました。

利用者は、小さい頃からお馴染みの焼き芋を美味し そうに食べながら、昔話に花を咲かせ、穏やかな時を 過ごすことが出来ました。



桃の節句にお祝い

▶ 特別養護老人ホーム高喜苑

寒も緩み暖かくなってきた3月上旬に、特別養護老 人ホーム高喜苑では桃の節句のお祝いをしました。

昼食にちらし寿司やお雛様を模ったおまんじゅうを お出ししたら「おいしいね、かわいいね」などの声が聞 かれ、皆様いつもより食が進んでいるようでした。お食 事の後はひな祭りの歌を唄ったり、にっこりとやさしい 笑顔で記念撮影をしたりしながら穏やかな時間を過 ごしていただきました。ほのぼのとした春を感じられた 一日でした。

度による患者を扱うのはいうまで

済生会の趣旨に鑑み、公の保障制







総裁に高松宮殿下を再推

戴

済生会物語へその

三年七月三十一日、GHQの指示 殿に参内しご内意を得た。 場一致で決定後、会長、理事長が御 いと言う意見が台頭。参事会で満 織変更されて厚生大臣の認可を され、済生会も社会福祉法人に組 は新しく社会福祉事業法が制定 られていたが、二十七年四月には により、済生会総裁をご退任にな 高松宮宣仁親王殿下は、昭和二十 松宮殿下を再び総裁に推戴した 受けるに至ったので、これを機に高 十一日、第三代総裁に就任戴いた 対日平和条約」が発効し、前年に 終戦直後の昭和二十年八月二

失い、その復興のために経営も困 は、要旨次のとおり。 た。この折の総裁宮殿下のお言葉 宮邸において総裁推戴式が行われ 昭和二十九年五月二十一日、 人たちは非常な困難に遭っている 終戦後のごたごたにより、社会の 、済生会もまた施設の大部分を 高松

> 難になっているようであるが、これ を克服して活動するには、やはり

変わらぬことになる。 とも、国の仕事として一般の医療 のが次第に整備され、従来、済生 終戦以来、社会保障制度というも ばならないと思う。 するのであれば他の病院となんら 生活保護法の患者のみを対象と るが、もしも済生会が社会保険や 生会の特色が薄らいできた感があ 機関で行うこととなったので、済 会が扱っていた医療保護というこ 体となった組織力によらなけれ

(「済生会物語」(堀賢次著)から転載)

ければならない。

にある人々に対して暖かい手を差 い、いわゆるボーダーラインの階層 もないが、法の適用を受けられな

し伸べることを主たる任務としな

10

「救療済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。 〈基本理念〉

〈基本方針〉

- 1. 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の 立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
- 2. 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
- 3. 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
- 4. 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
- 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

〈利用者の権利〉

- 1. その人格を尊重される権利があります。
- 2. 社会的地位・国籍・人種・宗教・性別などにより差別を受けることなく、公正・平等に介護 を受ける権利があります。
- 3. 自分が受けている介護に関するすべての情報について知る権利があります。
- 4. 自分に関するすべての個人的情報を守ってもらう権利があります。

特別養護老人ホーム 高喜苑

[介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所]

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8253 FAX 099-284-8252

シルバーフラット武岡台

[軽費老人ホーム/ケアハウス]

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6870 FAX 099-283-6871

済生会なでしこの杜

〔サービス付き高齢者向け住宅〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-202-0710 FAX 099-283-4733

指定居宅介護支援センター高喜苑

[指定居宅介護支援事業所]

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4737 FAX 099-283-4733

グループホーム武岡5丁目

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目16番23号

TEL 099-282-6081 FAX 099-283-3533

グループホーム武岡ハイランド

〔認知症対応型共同生活介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-7231 FAX 099-283-7232

武岡台デイサービスセンター

[指定通所介護事業所]

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6880 FAX 099-283-6872

デイサービスセンター 高喜苑

〔認知症対応型通所介護事業所〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-284-8254 FAX 099-284-8255

なでしこ訪問看護ステーション

「指定訪問看護事業所」

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-281-9292 FAX 099-283-4733

ホームヘルプステーション 高喜苑

「指定訪問介護事業所」

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876

済生会サポートセンターなでしこ

〔定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876

訪問入浴センター 高喜苑

〔指定訪問入浴介護事業所〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4731 FAX 099-283-4733

訪問給食センター 高喜苑

〔鹿児島市委託事業所・配食事業〕

〒890-0022 鹿児島市小野町2427番地2

TEL 099-283-4730 FAX 099-283-4732

鹿児島県済生会

〔支部〕

〒890-0031 鹿児島市武岡5丁目51番10号

TEL 099-210-5460 FAX 099-210-5560

編集 後記

百花繚乱。山々の木々は芽吹き、草は萌え出し、生命の息吹、鼓動を感じさせる好季です。東日本大震災から5年。 本年3月11日現在の死者、行方不明者18.455人のかけがえのない命を思う時「生きているということ」「生かされ ているということ|について考えさせられます。「ふっても/てっても/日日是好日/泣いても笑っても/きょうが/一番いい 日/わたしの一生の中の/大事な一日だから」(相田みつを)。一日一日を心のままに大切に生きたいものです。(F)